

Q 柵を挿入すると「×」マークが表示される

A1 作図時の柵深さと柵の天端高さを変更します

A2 断面から縦管を伸ばします

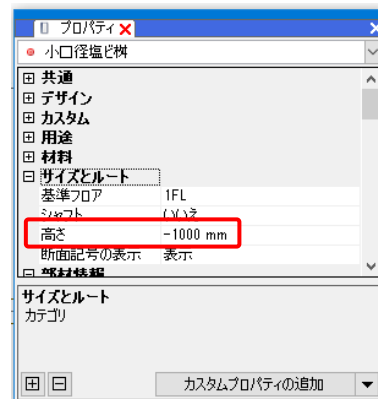
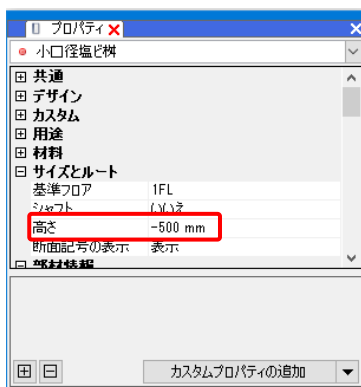
配管上に柵を配置すると柵に「×」マークが表示される場合があります。



柵の高さの基準は縦管の天端で、配置高さが柵より低くなっていると、「×」マークが表示されます。作図時の柵深さや高さを調整するか、作図後に断面から縦管を伸ばします。

配置高さが柵の上部より高い

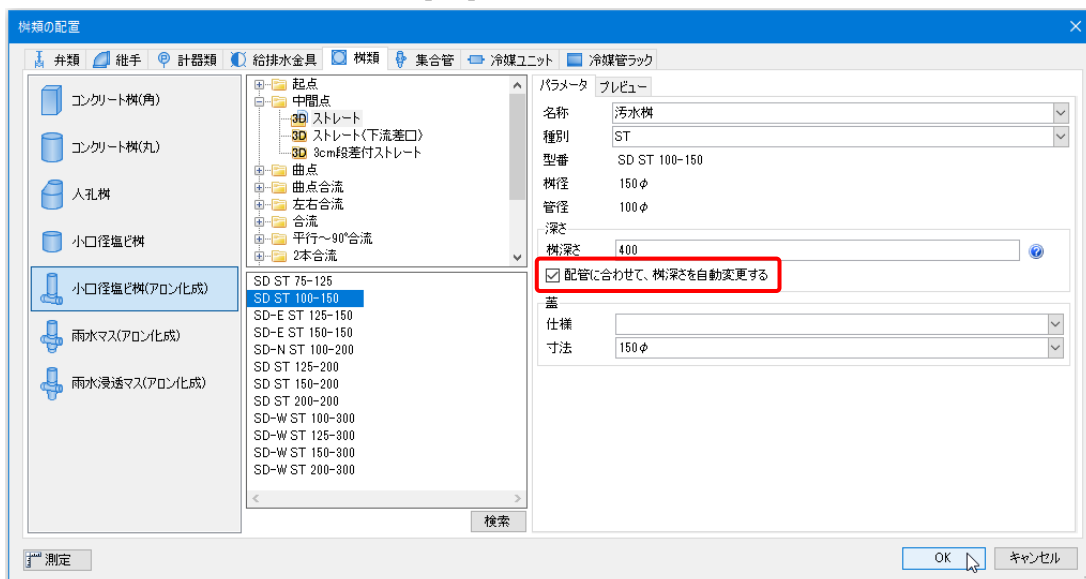
配置高さが柵の上部より低い



柵の天端高さは 1FL-947 でプロパティの高さがそれより低いため、「×」マークが表示されます。

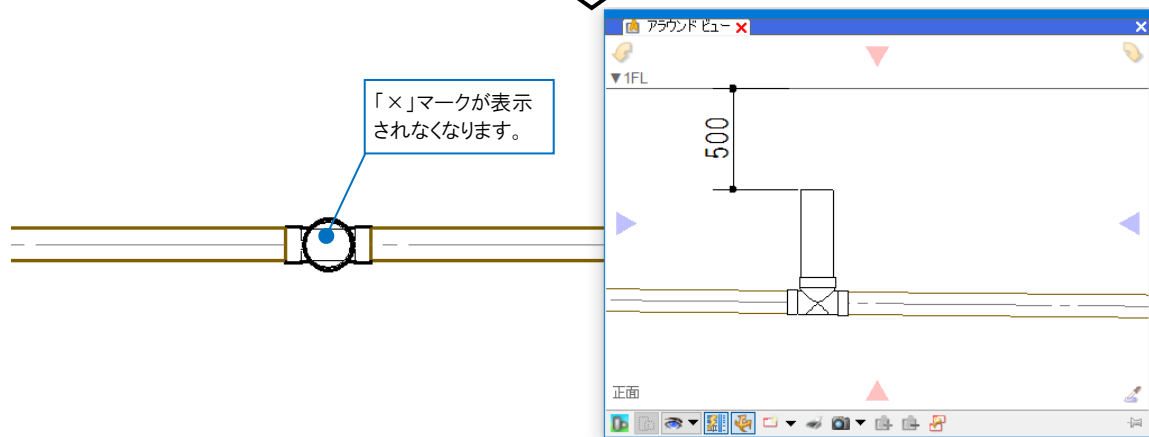
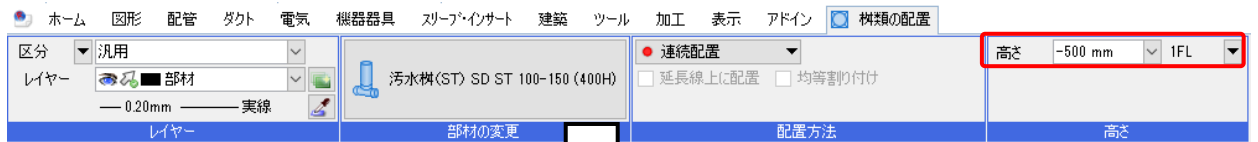
▼A1 作図時の柵深さと柵の天端高さを変更します

1 [柵類の配置]ダイアログで、[配管に合わせて、柵深さを自動変更する]にチェックを入れると、現在の配管高さに合わせて柵が挿入されます。柵を選択し[OK]をクリックします。



2

柵の配置時の[高さ]では、基準フロアから縦管の天端までの距離を指定します。

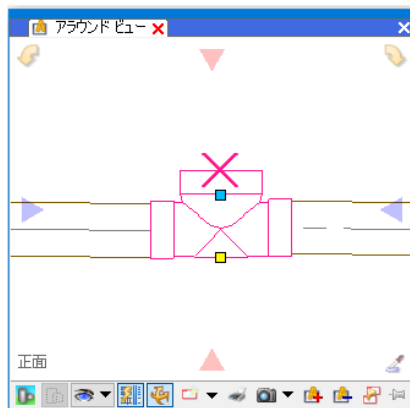


▼A2 断面から縦管を伸ばします

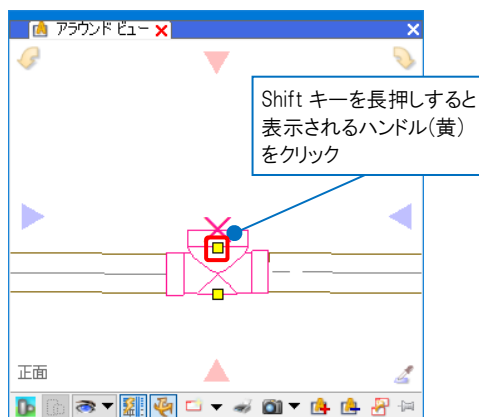
1

配置後に変更する場合は、断面から縦管を伸ばします。

柵を選択し、コンテキストメニューから[アラウンドビュー]を選択します。アラウンドビュー上で柵をクリックします。

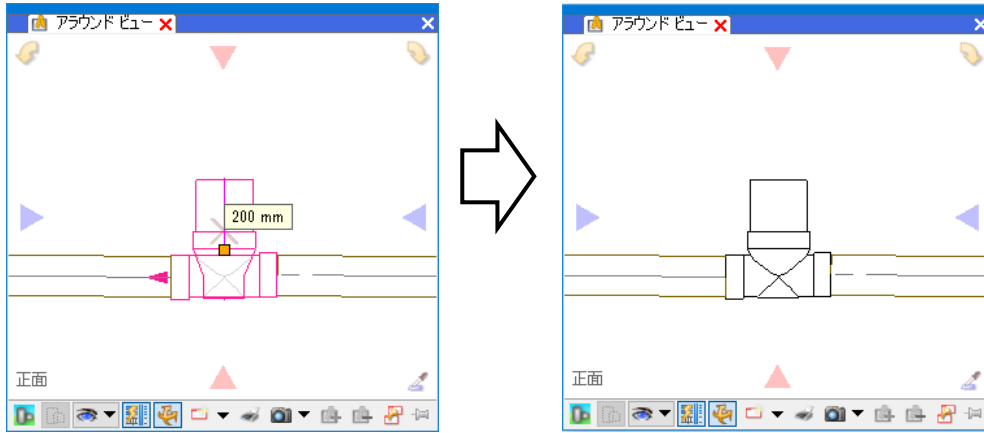


Shift キーを長押しして中点の位置変更ハンドル(黄)を表示させ、ハンドルをクリックします。



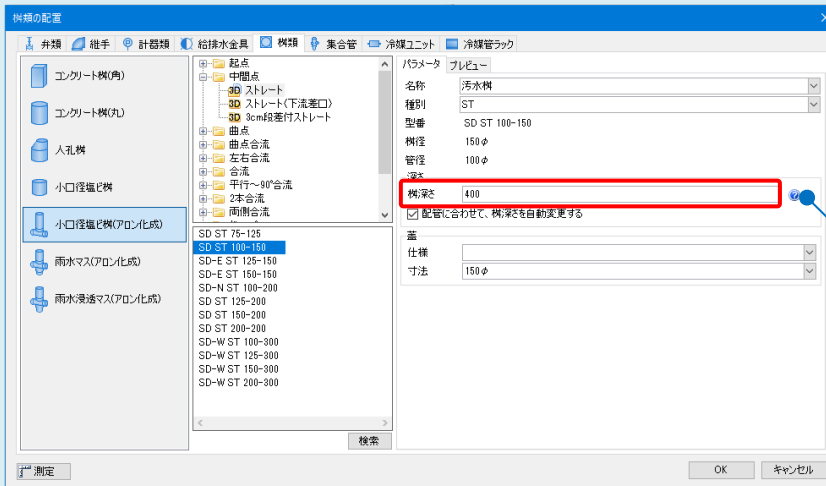
2

縦管の天端の位置を変更します。

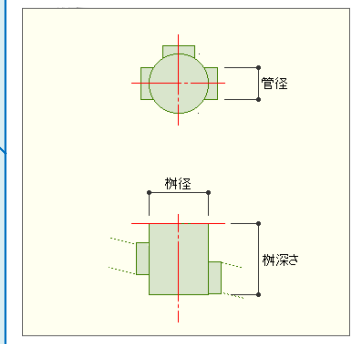


●補足説明

柵を単体で配置するとき「×」マークが表示された場合は、配置時の柵深さの設定を変更します。柵深さは柵の天端から下端までの長さになるため、柵の全長より長めに設定します。

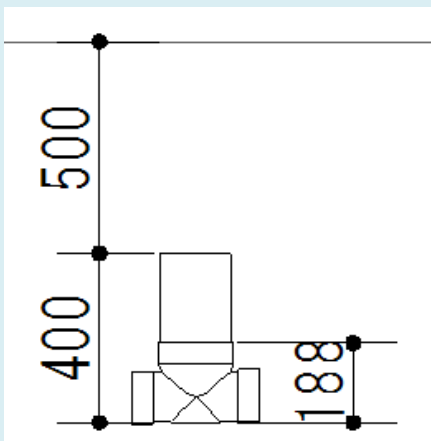


?をクリックするとヒントが表示され、柵深さを確認できます。

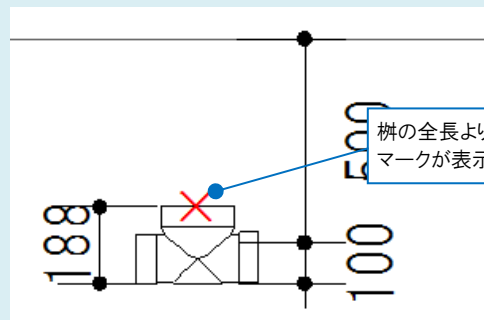


(例)柵の全長 188 mmで、配置高さを-500にした場合

柵深さ 400



柵深さ 100



柵の全長より柵深さが短いため、「×」マークが表示されます。

●補足説明

柵を調整せずに「×」マークを非表示にしたい場合は、「×」マークの表示/非表示をクリックしてオフに切替えます。

